



議員の間にアクリル板を設置した

6月議会の第2号補正

コロナウイルス対策約10億円

久喜市では、コロナウイルス感染症対策として、国の「特定額給付金」一人10万円の交付、子育て世代臨時特別給付金（子ども一人1万円）、また市独自に「一人親家庭への臨時給付金」（子ども一人3万円支給）や休校に伴う給食食材費補償金などを5月1日に、議会承認が不要な専決処分として行ってきました。

日本共産党としては、より速く市民に給付されるための対応だとして評価してきました。

6月議会では第2号補正予算としてコロナウイルス対策費用が約10億円計上されました。財源は国からの地方創生臨時交付金約3億5千万円、市の財政調整基金6億6千万円となります。主な内容は以下の通りです。

市議会の新体制決まる！

議長に春山千明氏、副議長に盛永圭子氏

6月議会の冒頭、議長以下の各種選挙が行われ、議会及び一部事務組合などの構成が変わりました。党議員の所属は以下の通りです。

◆杉野 修議員

◎総務財政市民常任委員会 ◎社協・理事
◎「議会だより」広報委員

◆渡辺昌代議員

◎教育環境常任委員会 ◎議会運営委員会
◎久喜市ごみ処理施設・（仮称）本多静六記念公園等特別委員会 ◎久喜宮代衛生組合議会
◎図書委員

◆石田利春議員

◎建設上下水道常任委員会 ◎圏央道対策特別委員会◎利根川栗橋流域水防事務組合 ◎ICT推進委員会

◆平間益美議員

◎福祉健康常任委員会 ◎広域利根斎場組合議会
◎議員倶楽部

◎議会に新会派の届け出される

◆最大会派である「新生久喜」から6名の議員が会派を離脱し、新しく「政策の会くき」を届け出しました。代表は、上條哲弘議員。



個室間仕切りテント（参考品）

※ コロナ災禍の影響下、議員報酬を市民生活、地域経済支援に当てるため、3か月間・10%削減することを決めました。党議員団は、発議・賛成しました。

補正予算の「おもなコロナ対策」事業

- ①「広報くき」「議会だより」などのポスティング費用
- ②本庁舎・各支所の感染防御のためのアクリル板設置費用
- ③職を失い、住居を失った生活困窮者の方のための住居確保給付金
- ④障がい者・介護入所施設における感染拡大防止のオンライン面接環境整備費用
- ⑤学童保育の延長時間の補助・児童減による減収補填・昼食費補助金
- ⑥感染症対策としてマスク・消毒液・非接触型体温計購入
- ⑦商工会補助として、相談業務費、デリバリーのタクシー配送補助費
- ⑧商店街街路灯電気料金の補助
- ⑨中小・個人事業者の補助「持続化給付金」の対象外となる、減収30%～50%未満の事業者への給付、中小20万円、個人15万円。新規事業者も対象となる
- ⑩国の特別利子補給制度の適応対象外となる事業者への利子補給
- ⑪商店街支援プレミアム付商品券発行事業補助
- ⑫マスク・個室間仕切りなど防災備蓄品整備
- ⑬小中学校の児童生徒一人一台タブレット端末の整備費用など20項目になります。これから議会での審議となりますが、国の制度から対象外となったものへの給付や拡大は日本共産党久喜市議団としても要求していました。第2波・3波を想定した対策のさらなる検討が必要です。

6月8日	月曜日	議案の上程 議員提出議案先議
6月12日	金曜日	一般質問 渡辺議員 2番目 平間議員 5番目
6月15日	月曜日	一般質問 石田議員 3番目
6月17日	水曜日	一般質問 杉野議員 4番目
6月18日	木曜日	一般質問 最終日
6月22日	月曜日	議案質疑
7月2日	木曜日	最終日 討論・採決

コロナ対策急ぐため、補正予算などを専決する

平間ますみ

12日（金）⑤番目



1 市立小・中学校大規模改造基本方針について

全ての小中学校のトイレ洋式化・雨漏り対策等の計画が示されました。久喜地区の小学校の優先順位 1 は本町小、2 位は北小。中学校は 1 位が太東中、2 位は久喜東となっています。工事着手の年度や小学校・中学校ではどちらが優先されるのかなどの具体化を聞きます。

2 GIGA スクールの計画について

全ての児童生徒にタブレットを配布し授業を行う GIGA スクール計画が、新型コロナウイルスの感染をうけ前倒しすることになりました。

過大なる負担が予想される現場の教員の研修、児童生徒のフォローはどのように考えているのか質問します。

3 コロナウイルスによる視覚障がい者支援について

「ヘルパーと視覚障がい者の間で社会的距離が保てない」という事でガイドヘルパーの活動自粛が広がっており、視覚障がい者の方が苦境に立たされているという報道がなされています。久喜市の支援について聞きます。

4 小・中学校の学校再開について

6 月 15 日より通常授業が行われますが、今まで通りのクラス人数では「3 つの密」を避けることは難しいと考えられます。対応と、今回のコロナ感染により仕事がなくなり、収入がなくなった保護者を支援するためにも給食費の無償化を求めます。

石田としはる

15日（月）③番目



1 コロナウイルス感染防止を踏まえた避難所の設置を

新型コロナウイルスによる感染症との戦いは、長期戦になることを覚悟しなければなりません。水害対策など複合的な災害を想定した避難所の整備は喫緊の課題です。市民のいのちと暮らしを守る久喜市の取り組みについて聞きます。

2 感染拡大を防ぐ為に尽力している医療機関を支援すべき

新型コロナウイルス感染者の治療に尽力している医療機関では減収・経営難が深刻化しています。財政支援を拡充し、経営破綻による医療崩壊を防ぐことを求めます。

3 済生会栗橋病院との定期協議の内容は

済生会加須病院は、130 億円をかけ、300 床で 2022 年 2 月ごろの完成をめざし起工式が行われました。現在地に残る済生会栗橋病院の施設を活用した地域医療構築が求められています。

4 PCR 検査を抜本的に増やすことを求める

第 2 波の感染拡大を防ぎ、収束に向けては、感染状況を早期に把握すること、PCR 検査などは最重要課題です。唾液による検査も可能となる中、検査体制の抜本的に改善を求めます。

5 特別定額給付金、希望者にもれなく給付する為に

すべての市民に「特別定額給付金」10 万円の給付は、国民の声が高まる中で実現したもの。スピード感をもって希望するすべての方に届けられているか質問します。

市民・行政・議会一体で「コロナに強い久喜市」を！

渡辺まさよ

12日（金）②番目



1 コロナウイルス感染症対策について

（1）介護施設や事業所、障害者施設の集団感染が起こればその影響はかなりの被害となる。密になる事が避けられない職員等を優先してPCR検査の実施ができないか。各事業所への減収補償をすべきだ。さらに出産分娩時を安心してさせる為に、出産間近な妊婦へのPCR検査を公費負担でできないか。

（2）生活困窮者への対策として、緊急小口資金・総合支援資金の活用・住宅確保給付金・生活保護・税の猶予や減免など、しっかりと寄り添った対策をすすめていただきたいが。

（3）小中学校では修学旅行が中止となった学校もある。体育祭・部活動大会も中止となり、余りにも不憫でならない、何らかの行事で思い出を作れないか。旅行中止の取り消し料の個人負担は避けるべきではないか。

2 「持続化給付金」は国へ早急な改善要求を求めるべき

政府が早くから周知していたにもかかわらず、電子申請のみの受付で、ようやく出来た申請サポート会場も時間がかかっている。未だに申請出来ない方がいる。

3 久喜駅西口周辺 まちづくり検討事業の調査の進捗状況は

調査規模や内容、業者選考の進捗状況。また「住民説明会」の今後の計画はどのようなのか。

杉野おさむ

17日（水）⑤番目



1 今年度の県学力テストへの参加は中止を

県の教育局は、6 月 1 日から 7 月 16 日にかけて、例年通り学力・学習状況調査を行うと決め、久喜市も実施する予定という。果たしてこのコロナ災禍の中でやるべきなのか。

（1）学校は、感染防止で休業を余儀なくされ、その「おくれ」を取り戻すことが最優先ではないか。

（2）コロナ災禍で子供たちのストレスは計り知れない。そのうえにテスト実施は、さらなるストレスを与えることになる。

総合的に考えて、今年度のテスト参加は見送るべきである。

2 4 月 28 日以降生まれた新生児に市独自の祝い金の支給を

国の特別定額給付金は、4 月 27 日現在の住民票在籍者を対象にしており、その後生まれた新生児は給付されない不公平がある。市独自に出産を祝う給付金制度を新設し支給を求める。

3 新型コロナ感染症による「第 2 波」の感染防止に全力を

（1）災害対策基本法の適用を国に求めよ

現在まで国、県などが行ってきた各種のコロナへの「応急対策」や、市町村長の感染防止への「責務と権限」は、すでに災害対策基本法に整備されており、適用で速やかな対応が可能になる。

（2）コロナによる市民、事業者への影響を把握しているか。

（3）PCR 検査を積極的に位置付けて広げる体制と支援を